

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014年	インターン番号	TA1022	タイプ	提案型
派遣国	インド			派遣都市	ワオーディア
受入機関	Sanghvi Forging & Engineering Limited				
受入機関概要 (事業内容等)	産業用・重工業の分野向けの熱間鍛造品を製作する素形材メーカー(従業員300人) (ドイツ・イタリアの最新鍛造設備を保有、Oil & Gas 発電等の社会インフラ事業領域で国内60%・海外40%の取引を実施)				
派遣期間	2014年9月11日～2015年2月6日				
現在の所属先	大昭産業株式会社		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	開発営業部		所在地	大阪市	
区分	中小企業		性別	男	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

3年程前からインドパートナー数社と事業を進める中で、ビジネスの商慣習・文化の理解をより一層深める必要があると感じていたところに、本事業に出会いました。インドの中核事業である熱間鍛造ビジネスの製造技術・受入企業の強みの理解を深め、印→日での事業を促進させるためにインターンシップに提案型として参加しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

熱間鍛造品の製造工程や品質管理を現場で学びながら、業務フローと製品の特徴を理解していきました。海外営業部や受入企業の社長と議論しながら、製造現場から知り得た情報を基に、営業資料を作成、インドから営業も行いました。また原材料を日本から購入したいという要望が受入企業からあり、日本のSteelメーカーへ問い合わせを行いながら、日印ビジネスの可能性を探し続け、受入企業が出展している展示会へ参加をしながら、受入企業の事業の理解を深めていきました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

製造業に欠かせない三現主義(現場・現物・現実)を受入企業を基準にして検討する事ができた事、また何をクリアする事でインドビジネスを発展させられるかを見つける事ができた事は自身の目標であったので、大きな意味がありました。

また受入製造メーカーのQuality・Cost分析を製造現場から現地スタッフと話しながら行えた事、同時に各個人が何を考えながら仕事を行っているかを知れた事は企業の強み(Strength)・弱み(Weakness)を理解しながら、商慣習・文化や今後の課題を知れた事でもあり、インド事業に大いに役立ちます。

異国で生活を行いながら、外から日本という豊かな国を考える事ができた事、グローバルな仕事を行うには何が必要であるかを体感できた事は何事にも変えられない経験となりました。

インターンシップ風景



熱間鍛造中



海外営業部メンバーと

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

私が働く大昭産業株式会社はモノづくりに優れた製造業のフィールドで事業を行い、一部製造を行いながら、技術情報商社として日々活動しています。

日本国内・国外の新技术・製品を取扱い、その中で私が所属するPlant & Instrumentation事業部は海外メーカーの産業設備・技術・製品を日本の重電プラント顧客へ提供しております。

この事業部は今まさにインドGujarat州を始めとするインド事業に注力していて、私が提案型インターンシップに参加した事で、受入パートナー企業を十分に知るきっかけとなり、組織内の人間関係を始め、生産・品質管理や現状の工場生産能力、今後の設備拡大プラン並びに日本マーケットへの期待など事業推進には必要な事を習得できた事は、今後の事業拡大に向けて大きな可能性を作る事ができました。また、その他インドパートナー先4社ともコミュニケーションを密にする事ができ、現在のプロジェクトの受注拡大に寄与できていると思っています。

合わせて、インドオフィス進出の実現についても十分検討を行う事ができ、現在は経済産業省・JETROの支援を受けながら積極的に進めており、インターンシップ後は新ビジネスがどんどん膨らんできている状況です。

弊社は2015HIDAインターンシップ事業にも参加していて、今年度から新しく開始された現地企業のインターン受入も行っており、私の2014年度インターン先のSanghvi Forgingの会社から今年度一名が派遣されており、日印間のビジネス・文化・商習慣を議論しながら、両社の人材交流も盛んに行っております。最後に、2014年度インターン生の仲間とは現在も良好な人間関係を築いていて、7月末にはインターン同窓会を幹事代表として企画・実施致しました。

人数は十数名からの出発ですが、インターン同士の交流はまさに異業種交流そのものであり、ビジネスマッチングや新ビジネスに繋がり、また世代を超えた人材が交わることで、企業人の新しい価値の創造、それらを発信していく組織になればと願い、今後もこの活動を続けていきたいと思っております。

この繋がりは私自身のビジネス意識を高めてくれていて、常にそれぞれ業界・業種・産業分野の生の情報を交換できる大切な存在になっています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

参加を検討されている方は何かしら自身もしくはビジネスの課題や目標があり、海外志向が高い方だと思います。

私は自分自身そして日本を海外の慣れない環境から見つめて、課題を発見し、柔軟に対応しながら仕事を行い、解決に導いていく事は今後益々求められていく社会になると思います。

迷っているのであればもう迷わず参加してみてください、必ず参加して良かったと感じる日がやってくるので。

現在の活躍の様子



メーカーにて立会検査中



工場内の製品説明中